



12月1日は「世界エイズデー」

今年度の「世界エイズデー」のキャンペーンテーマは『知ってる！？HIVとエイズの違い』です。治療の進歩により、HIV陽性者は感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。しかし、HIV/エイズについては『原因不明で有効な治療方法がない』という過去の認識にとどまっている場合が少なくありません。この機会に一人でも多くの人が正しい知識を身につけ、検査の早期受診や差別・偏見の解消につながっていくことを願っています。

HIVとエイズの違い



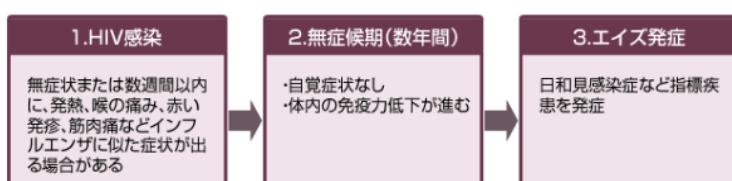
2018年の日本のHIV新規感染者・エイズ患者の報告数は1,317件で、2年続けて減少しました。

HIV 感染 = エイズ ではありません

HIV (Human Immunodeficiency Virus) : ヒト免疫不全ウイルス

AIDS (Acquired Immune Deficiency Syndrome) : 後天性免疫不全症候群

【感染から発症までの経過】



ウイルスの名称

HIV（ウイルス）に感染して免疫力が低下し、様々な病気を発症した状態を言います

感染経路



主な感染経路は3つです

1. 性的接触による感染（最も多いケース）

感染者の精液や膣分泌液などが、相手の性器や口などの粘膜や傷を通って感染します

2. 血液を介しての感染

血液に含まれるウイルスが、傷口などを通して体内に入り感染します（注射器の共有など）

3. 母親から赤ちゃんへの母子感染

母親が感染者の場合、妊娠中や出産時、母乳によって赤ちゃんに感染します

うつりません



握手 入浴 プール つり革や手すり 缶などの回し飲み 感染した人を刺した蚊に刺された感染者が調理した食べ物、使用した食器

ただし、色々な感染症を防ぐためにも、血液が付きやすいカミソリ、歯ブラシ、タオルなどの日用品は自分のものを使用しましょう。

HIV感染の早期発見・治療が重要なわけ



「死の病」ではなくコントロール可能な病気です

～高い治療効果を得るために、エイズ発症前に治療につなげることが大変重要です～

◎HIV感染の早期発見・早期治療 → エイズの発症を防いで、健康的な社会生活を送ることができます

◎治療の継続 → 体内のウイルスの量が大きく減少し、他の人への感染リスクを〇に近いレベルまで下げられます

～少しでも気になる場合は、早めにHIV検査を受けましょう～

■検査場所：全国の保健所（匿名・無料）、病院・クリニック（原則有料）

■検査方法：血液検査でHIVに対する抗体ができるかを調べ、感染の有無を確認します

■検査時期：感染が疑われる時期から3ヶ月以上経ってから（心配な時は3ヶ月以内でも相談・検査は可能です）